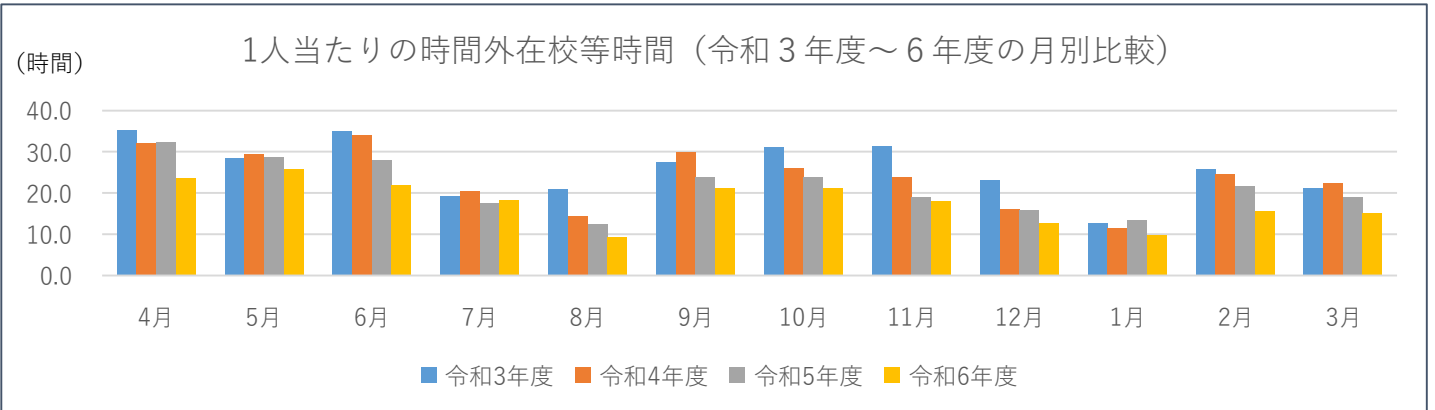


令和6年度(2024年度)

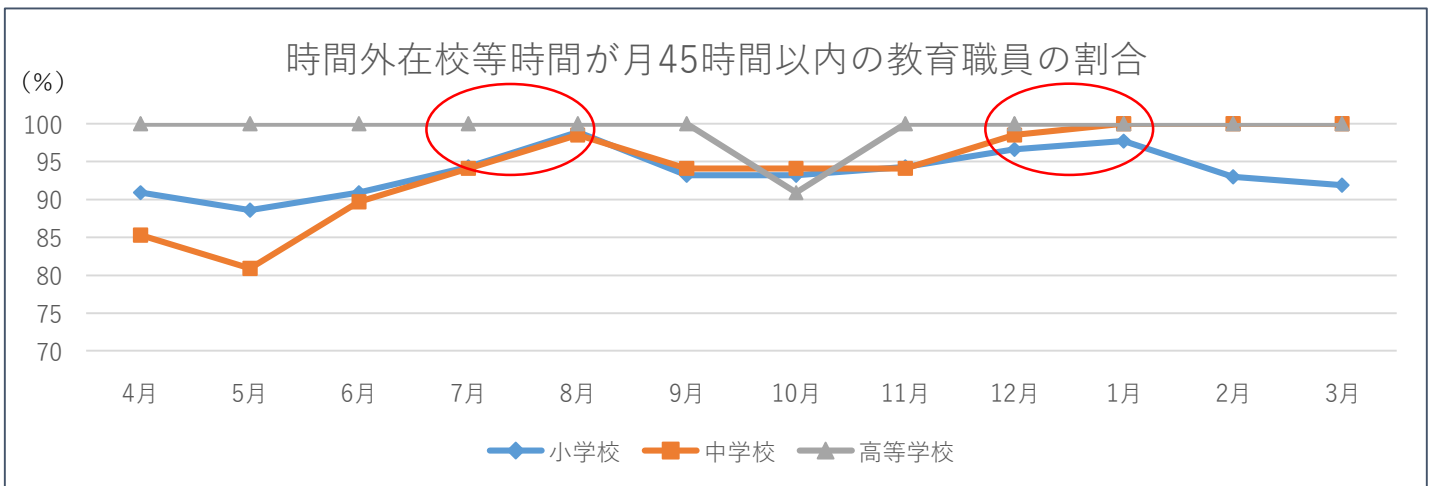
士別市立学校の教職員に係る時間外在校等時間(超過時間)の状況について

- 期 間：令和6年(2024年)4月～令和7年(2025年)3月
- 対 象 校：士別市立の小学校6校、中学校4校、高等学校1校
- 対象職員：教育職員(校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭)

1 月別の時間外在校等時間の推移について



2 校種別の時間外在校等時間が月45時間以内の教育職員について



3 調査結果を踏まえた課題と今後の取組について

- 教育職員の時間外在校等時間(1人当たりの平均値)については令和3年度～6年度まで、各月とも45時間以内となっており、令和6年度の在校時間は7月を除き、前年度までより減少している。
 - 各校種の働き方改革が進んでいると考えられ、特に時間外在校等時間が45時間以内の教職員は長期休業期間を含む7月・8月および12月・1月で多くなっていると考えられる。
 - 年間の時間外在校等時間については、平均値では360時間以内を達成(令和3年度は312時間、令和4年度は285時間、令和5年度は256時間、令和6年度は213時間)し、減少傾向にあり、四年間で100時間程度減少している。
- *道教委では「学校における働き方改革 北海道アクション・プラン」において、教育職員の時間外在校等時間の目標を1か月で45時間、以内、1年間で360時間以内としている。